

事務事業評価シート

事業種別	継続	補助	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分	
コード	名称			区分	コード	
事業名	474	訪問指導事業(負担金分)			会計	01 一般会計
基本施策	01	10万市民の健康を維持する			款	04 衛生費
施策	2	ライフスタイルに応じた保健予防対策の推進			項	01 保健衛生費
基本計画該当頁	58~60	担当部課	コード	653000	目	01 保健衛生総務費
行革大綱の重点事項番号	7	名称	阿山支所健康福祉課		細目	102 保健事業
					細々目	05 訪問指導事業(負担金分)
					評価者氏名	森下泰成
					連絡先	43 - 9711 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	保健指導が必要な市民及びその家族 (対象件数)	対象者及びその家族の健康の保持増進、療養者の生活の質の向上が図れる。
開始年度	平成 16 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	療養上の保健指導が必要な方及びその家族に対して保健師が訪問し、必要な保健指導をする。	状況変化等
		生活習慣病予防・介護予防の推進に向けて個人の生活の場における個別指導として重要になってきておりニーズも高い。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	( ) 人
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
訪問指導者数	人	目標 50 実績 45	目標 50 実績 17	20	20
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
訪問指導人数	訪問指導延べ人数	人	目標 50 実績 45	目標 50 実績 17	20	20
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	法律で実施が義務付けられている。個人の生活場面での保健指導としてニーズも高い。
有効性	3	個人の生活習慣を踏まえた上での直接的な指導であるため効果が高い。
達成度	3	個人の生活に即した指導であるため生活習慣の改善に結びつきやすい。指導を受けたケースについては改善に結びついている。
効率性	4	個人の問題解決のために関係機関や他職種との連携を強化していくことで効率化を図っていく。経費は必要最低限である。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	個人及びその家族の健康の保持増進のため、関係機関と連携しながら実施していく

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)
委託	↔	燃料費			94	燃料費			75	燃料費			91	燃料費			91
工事	↔					修繕料			22	修繕料			108	修繕料			23
進捗率(%)		事業費計(A) 94				事業費計(A) 97				事業費計(A) 199				事業費計(A) 114			
事業投入人員		人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.2	人	1,440
フルコスト(A)+(B)		1,534				1,537				1,639				1,554			

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	94	97	199	114
Aの財源内訳	国庫支出金 31	32	66	
	県支出金 31	32	66	
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源 32	33	67	114
計	94	97	199	114
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	老人保健事業 国1/3県1/3市1/3	老人保健事業 国1/3県1/3市1/3	老人保健事業 国1/3県1/3市1/3